

コウノトリ

毎週月曜日更新



カタカタ通信

第137号

「いたいた、コウノトリ！」

2024年8月12日

7月25日に鴻巣市内でコウノトリが目撃されました。目撃情報を頼りにコウノトリを探しに行ったので、今回はその時の様子をお話します。

その日もセミの声がよく聞こえる暑い日でした。コウノトリ野生復帰センターに一本の電話が入ります。市内に暮らす女性からコウノトリを見かけたという情報です。すぐに連絡をくださったので、まだ現場にいるかもしれないと、車に乗り込み数名で探しに向かいました。

現場に近づき民家を抜けると一面田んぼが広がります。その田んぼの一か所を見るとたくさんのサギたちが集まっていました。情報では“サギの中に4羽のコウノトリがいる”とのことだったので、車内から目をこらします。すると「黒いのいる、黒いの！」と声があがります。コウノトリらしき黒いくちばしと風切り羽が見えました。「どこまで近づこうか」「この辺にしておこう」と近づきすぎないように手前で止まり、車からゆっくり降りました。



あたり一面に広がる田んぼ



車内からコウノトリを探します

車から降りると手前にいたサギたちが飛び立ち、奥へ逃げてしまいます。これ以上近づいては、コウノトリまで飛んでしまうかもしれないと、遠くから姿を探すことにしました。「どこだ！あの辺にいたのに」降りてからもう一度コウノトリを探しても、なかなか見つかりません。動かずに見ているだけでも、サギがどんどん羽ばたき私たちから距離をとります。ビデオカメラのズーム機能を使って探していると……「いたいた！」稲の隙間からひょっこりとコウノトリの影が見え隠れしました！サギはこちらを警戒していますが、さすがはコウノトリ、のんびりとエサを探してました。サギの中に紛れ、稲の隙間から頭を出すコウノトリを探すのは、間違い探しをしている気分です。



この中にコウノトリが1羽隠れています！

情報では4羽いたとのことなので、もう少し周りを見渡すと、別の場所にも2羽発見。普通に立ってました。



別の方向にも2羽発見！



お食事中

この時期はちょうど田んぼの水を抜く中干し期間で、水の中の生きものは水がある方へと逃げて集まっていたようです。しばらく見ているとコウノトリたちは歩き出し、エサを探してはナマズっぽい魚を食べていました。動かず見ているとコウノトリの方から少し近づいてくれたりとサービス満点です。

足環が汚れていて色がわかりづらかったですが、島根県生まれの個体と昨年も来てくれた徳島県生まれの個体の2羽は個体識別ができました。ずっと撮影していたい気持ちはありますが、さすがの暑さでその日はそこで終了しました。

開けた田んぼを通るときはチラチラと周りを気にしてしまう今日この頃です。



道路をお散歩



稲の間からお顔が見えます

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：佐藤